

## 第6学年 道徳科学習指導案

令和3年1月23日（土）4校時

第6学年 1組佐藤まゆみ 2組木次谷悠作 3組飯岡利彦

- 1 主題名【 希望と勇気、努力と強い意志】
- 2 教材名 「小川笙船」
- 3 ねらい 直面する困難を乗り越え理想に向かって努力しようとする実践意欲と態度を育てる。
- 4 展 開

	学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導 入	1 学習課題を設定する。 ○「これはやり遂げたな」と思ったことはどんなことですか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                         自分の決めたことをやり遂げるために大切なのは、どんなことだろう。                     </div>	
展 開	2 教材文「小川笙船」を聞き、話し合う。  ○小川笙船はどんな人でどんなことを行ったのだろう。 ・身分の高い人からは診療代を受け取ったが、貧しい人も手厚く治療した。 ・小石川養生所を作るように将軍に頼んだ。 ・若い人を育てた。 ・薬となる薬草を育てた。 ・男の大根をととてもありがたがった。  ○小川笙船の行動を支えた思いに迫ろう。 ・医者として、貧しい人の命を救えないのは悲しい。 ・誰でも頼ることのできる養生所があれば、問題が解決できる。 ・若い人を育てれば、医者が増え、将来的に救える病人を増やすことができる。 ・自分の大切だと思うのは、お金ではなく、命。  ◎何かをやり遂げるために大切なのは、どんな心でしょう。 ・あきらめない心 ・高い目標 ・しっかりと目標を定める意志	・小川笙船が実在の人物であったこと、その生きた時代背景などについて補足説明をして、小川笙船の行ったことがどれほど困難であったのかを捉えられるようにする。  ・ワークシートを活用して、一人一人の考えが学級全体に共有できるようにする。  ・一般化することで、自分事として考えられるようにする。
終 末	3 ふり返りを書く。	・強い意志をもって何かをやり遂げるためには、どんなことが必要かを考え、これからの生き方に生かせるようにする。

### 5 評価

- ・困難を乗り越え理想に向かって努力するために大切にしていきたいことについて、考えることができたか。

○「小川笙船」

○ねらい

今回の6年生の授業では、困難を乗り越え理想に向かって努力しようとする実践意欲と態度を育てることをねらいとしました。

○手立て

資料の人物「小川笙船」は、実在の人物で、江戸の町の開業医。笙船は腕の良い医者でしたが、貧しい人たちの診療のために将軍に上申し、小石川養生所を設立しました。若い医者たちの指導にも昼夜を問わず取り組み、多忙を極める生活を自ら選ぶというお話です。

今回の授業では、小川笙船が困難を乗り越え、人々のために働く姿、助けた男の持ってきた大根を大切に喜ぶような人柄・姿を通して、その行動を支えた笙船の思いについて考えます。そして、高い目標を実現するために大切なことは何かを考え、自分のこれまでとこれからの生き方について考えを広げられるようにします。

○児童の様子

自分が「やり遂げた」と思うことを想起し、なぜそう思えたのかを考えてみてから教材文を読みました。笙船の行動を支えた強い思いを想像し、困難を乗り越え何かをやり遂げるために大切なことについて考えました。「勇気」「やさしさ」「強さ」「粘り強さ」「チャレンジ精神」「高い目標」など様々な意見が出て、友達の多様な意見から考えを広げることができました。最後に、自分に引き寄せて、これからの生き方について考えました。「あきらめない心をもって人生を歩いていく」「人のために頑張れるようにしたい」など、前向きな記述が多かったです。

○写真

